

30-4

(2)決算整理事項 仕訳

	借 方	貸 方
1	通信費 2,000 雑損 400	現金過不足 2,400
2	仕入 200,000 繰越商品 172,000	繰越商品 200,000 仕入 172,000
3	仮受金 6,000 貸倒引当金繰入 2,240	売掛金 6,000 貸倒引当金 2,240
4	減価償却費 27,000	備品減価償却累計額 27,000
5	前払家賃 4,000 前払保険料 9,000	支払家賃 4,000 保険料 9,000
6	受取地代 3,600	前受地代 3,600
7	支払利息 8,000	未払利息 8,000
8	法人税等 57,200	仮払法人税等 28,000 未払法人税等 29,200

計算式

$$3. (受取手形 + 売掛金) \times 2\% - \text{貸倒引当金残高} = \text{貸倒引当金繰入}$$

$$(100,000 + 70,000) \times 2\% - 1,160 = 2,240$$

※ 売掛金は、残高試算表の76,000から仮受金の6,000を引いてから計算する。

※ 貸借対照表の貸倒引当金は、受取手形の2%、売掛金の2%をそれぞれ記入する。

$$4. (\text{備品} - \text{残存価格}) \div \text{耐用年数} = \text{減価償却費}$$

$$(216,000 - 0) \div 8 \text{年} = 27,000$$

5. 前払家賃・前払保険料は、貸借対照表ではまとめて前払費用として記入する。

6. 前受地代は、貸借対照表では前受収益として記入する。

$$7. 400,000 \times 6\% \times 4 \text{か月} \div 12 \text{か月} = 8,000$$

※ 4か月は、12月分～3月分

※ 6か月借り入れたが、利率年なので12か月で割る。

全体的な注意

※ 貸借対照表の「繰越利益剰余金」と、損益計算書の「当期純利益」は、自分で計算して求めてください。残高試算表からうつさないでください。

※ 「損益計算書の当期純利益 + 残高試算表の繰越利益剰余金」と「貸借対照表の繰越利益剰余金」が同じ金額になったら正解です。